

逗子市におけるブルーフラッグ認証概要

2022 年 5 月

逗子市市民協働部経済観光課

1. ブルーフラッグとは

ブルーフラッグは国際 NGO「FEE」(国際環境教育基金)が行う世界 50 の国、4,831 ャ所(2021 年 11 月現在)で取得されているビーチやマリナー、観光用ボートを対象とした国際環境認証です。ブルーフラッグ認証では、水質、環境教育と情報、環境マネジメント、安全性とサービスに関する 30 数個の厳しい基準の毎年の審査を通じて、ビーチやマリナー、観光用ボートにおける持続可能な発展の実現を目指しています。

ブルーフラッグ認証プログラムは、SDGs(持続可能な開発目標)の 17 のゴールに全て関連しており、SDGs の目標実現のために大きく貢献すると言われています。FEE では UNEP(国連環境計画)、UNWTO(国連世界観光機関)等の連携のもと、世界各国においてこのプログラムを推進しています。

2. 国内の認定ビーチ

- ・神奈川県鎌倉市 由比ガ浜海水浴場 (2016 年)
- ・福井県高浜町 若狭和田海水浴場 (2016 年)
- ・兵庫県神戸市 須磨海水浴場 (2019 年)
- ・千葉県山武市 本須賀海水浴場 (2019 年)
- ・神奈川県藤沢市 片瀬西浜・鶴沼海水浴場 (2021 年)
- ・神奈川県逗子市 逗子海水浴場 (2022 年) 国内 6 番目

3. 逗子市での取り組み

逗子海岸営業協同組合と協働で、2021 年度中に逗子海水浴場の水質・バリアフリー・安全対策などがブルーフラッグの基準を満たしているかの調査を行い、国際審査を経て、2022 年 4 月 27 日に認証されました。取得後も毎年更新をすることで改善点を洗い出し、ブルーフラッグの旗印の元、海岸関係者・市民・利用者みんなで将来の世代にわたっても安心してキレイな環境の海に親しめるよう持続可能な取り組みを行ってまいります。

また、株式会社リビエラリゾートの運営するリビエラ逗子マリナーでは、アジアで初となるマリナーでの認証を取得され、逗子がアジア初のビーチとマリナー同時認証となりました。